



大阪大学大学院基礎工学研究科等との連携による全国初の取組 泉北ニュータウン地域の魅力創出や政策課題の解決をめざし 「泉北アバタープロジェクト」を実施します

堺市では、大阪大学大学院基礎工学研究科の石黒浩名誉教授、同先導的学際研究機構の西尾修一特任教授（常勤）（※1）及び堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム（SCBH）（※2）と連携し、泉北ニュータウン地域を実証エリアとして、アバター（ロボット、CG エージェント等）を活用した実証プロジェクト「泉北アバタープロジェクト」を実施します。

同プロジェクトでは、高齢者がアバターをPCで遠隔操作し、泉北ニュータウン地域の魅力創出や様々な政策課題の解決に関する業務を行い、アバター活用に適した業務の選定や、業務を行う上での操作性向上のための検討等を行います。

本実証は2050年を目標年度に、解決困難な社会課題に対する野心的な構想の実現をめざす、内閣府の「ムーンショット型研究開発制度」（※3）の一環で石黒名誉教授・西尾特任教授（常勤）が主導し実施するもので、2025年の大阪・関西万博の会場での様々なアバター活用をめざすものです。

大阪大学にとって自治体と組んで様々な政策分野で大規模なアバター実証を行うのは今回が初めてとなります。また、ニュータウンの魅力創出や様々な政策課題の解決に向けて人型アバターを活用した大規模実証を行うのは全国の自治体で初めてとなります。

実証プロジェクトは、高齢者にとって、家等に居ながら仕事や地域活動、他者とのコミュニケーション等が可能となることで、高齢者の生きがいややりがい作りに寄与するものです。また、将来的に本技術が社会実装されれば、人口が減少していく地域の中で新たな地域の担い手や雇用の創出にもつながる可能性があります。

堺市は大阪大学との連携による実証プロジェクトを通じ、アバターを活用した地域課題の解決や住民の生活満足度の向上のための手法の構築をめざします。

1 具体的な実施内容

以下の取組を通じ、泉北ニュータウン地域における魅力創出や様々な政策分野の課題解決に向けたアバター活用の可能性を検討します。

- ・堺市立ビッグバンでのワークショップ（プログラミング・絵本の読み聞かせ等）・施設案内の実施
- ・南区役所内の魅力発信コーナーでの、南区の魅力に関する子ども向けクイズの実施
- ・いずみがおか広場で開催されるイベントでの子ども向け絵本の読み聞かせの実施

別途、令和3年7月6日より「企業による学びの応援プログラム」(※4)で南区内の実証フィールドを新たに募集し、実証プロジェクトの取組分野を広げていきます。

2 実証期間

令和3年7月6日(火)～令和7年3月31日(月)

(令和7年4月からの大阪・関西万博に向け、様々な政策分野で実証を実施する)

3 参考

本実証で使用するアバター（シャープ株式会社製の RoBoHoN 等）



©SHARP CORPORATION

- ・シャープ株式会社開発のモバイル型ロボット「RoBoHoN」
- ・サイズ約 198×105×58mm、約 395g
- ・大阪大学が本実証用にカスタマイズし、RoBoHoN を通じて PC 画面上で遠隔にいる相手を見ることができるほか、音声認識により操作者が話した内容を RoBoHoN の声で相手に伝えることができる。そのほか、文章を読み込ませ、会話などができる。

※1 大阪大学大学院基礎工学研究科 石黒浩名誉教授及び同先導的学際研究機構 西尾修一特任教授（常勤）は未来の人間社会を支える知的システムの実現をめざし、センサ工学・ロボット工学・人工知能・認知科学を基礎とし、人間と豊かに関わる人間型ロボットを創成する研究に取り組んでおられます。外見や動作が人間に酷似するアンドロイド・ロボットの専門家でもあり、石黒名誉教授は大阪・関西万博のプロデューサー等も務めておられます。

※2 堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム（SCBH）

SDGs の考え方を踏まえ、企業・大学・行政・住民等の多様な主体が、健康寿命延伸に関する先導的なサービス等の推進や産業の創出、企業投資の促進等による雇用の創出等、地域の活性化に資する取組を進めることを目的に設立したコンソーシアム（平成 31 年 3 月設立）。

※3 ムーンショット型研究開発制度

超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的な研究を推進する制度

Human Well-Being（人々の幸福）をめざし、その基盤となる社会・環境・経済の諸課題を解決すべく、7つのムーンショット目標を決定。そのうち、本実証は目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」に基づくもの（石黒栄誉教授は目標1達成のためのプロジェクトマネージャー）

少子高齢化が進展し労働力不足が懸念される中で、介護や育児をする必要がある人や高齢者など、様々な背景や価値観を有する人々が、自らのライフスタイルに応じて多様な活動に参画できるようにすることが重要であり、そのために進めるプロジェクト。

（内閣府：ムーンショット型研究開発 HP：目標1）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/sub1.html>

※4 「企業による学びの応援プログラム」

堺市教育委員会が実施する、大学や企業等による地域貢献活動を活用し、各種地域団体をはじめとした地域住民による自主的な学習活動や学校園での学校教育活動に対し、出前講座等を行うことで地域の教育力の向上を目的としたプログラムのこと。

（プログラム HP）

https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakko/suishin/df_filename_7200311170831817.html

問い合わせ先	(実証プロジェクトに関すること) 担 当 課：市長公室 政策企画部 先進事業担当 電 話：072-228-7480 ファックス：072-222-9694
	(公民連携に関すること) 担 当 課：市長公室 政策企画部 民間活力導入担当 電 話：072-228-0289 ファックス：072-222-9694 <div style="text-align: right;"> <small>さかいの未来を共に創るために。</small> Connect with... <small>さかい・コネクテッド・デスク</small> </div>
	(堺市立ビッグバンでのワークショップ・施設案内等に関すること) 担 当 課：泉北ニューデザイン推進室 事業推進担当 電 話：072-228-7530 ファックス：072-228-6824
	(泉北ニュータウン地域のスマートシティに関すること) 担 当 課：泉北ニューデザイン推進室 スマートシティ担当 電 話：072-228-7530 ファックス：072-228-6824
	(南区役所での南区の魅力に関する子ども向けクイズの実施に関すること) 担 当 課：南区役所 区政企画室 電 話：072-290-1805 ファックス：027-290-1814
	(いずみがおか広場での子ども向け絵本の読み聞かせに関すること) 担 当 課：南区役所 子育て支援課 電 話：072-290-1744 ファックス：072-296-2822
	(企業による学びの応援プログラムに関すること) 担 当 課：教育委員会事務局 地域教育振興課 電 話：072-228-7920 ファックス：072-228-7009